

巻末資料 3. 日本語 I・II (A レベル) チェックリスト

日本語 I ユニット I 「大学生活に慣れる」

チェックリスト

日本語 I では、ユニットごとにチェックリストがあります。

このチェックリストには、各ユニットでの学習を通じて、身につけてもらいたい能力やスキルが書かれています。

ユニット終了後には、「できるようになったかどうか」を自分でチェックしてもらいます。

ユニット I 「大学生活に慣れる」

理解 [読む・聞く]

1. 大学から届いたメールや資料を読み、問題なく理解できる。
2. 大学から届いたメールや資料を読み、必要な情報を手に入れることができる。
3. 教師の指示や説明を正確に理解し、適切に行動できる。

産出 [書く・話す(発表)]

4. パソコンのキーボードで日本語を入力(タイピング)することができる。

コミュニケーション [話す(やりとり)]

5. 恥ずかしがらずに話すことができる。
6. 手続き等に関して、大学の職員に適切に質問や相談をすることができる。(感じのいい聞き方で)

スタディスキル

7. manaba の見方と使い方がわかる。
8. manaba 上の連絡・指示を理解し、適切な行動に移ることができる。
9. YGU メールや manaba 上の情報の重要性を知り、確認を習慣化できる。
10. 自分に合ったスケジュール管理、課題管理の方法を知り、実行を習慣化できる。
11. 分からないことは自分で調べたり、聞いたりできる。(適切な方法で、適切な相手に)
12. 目標を設定し、自律学修を進めることができる。

チェックリスト

日本語 I では、ユニットごとにチェックリストがあります。

このチェックリストには、各ユニットでの学習を通じて、身につけてもらいたい能力やスキルが書かれています。

ユニット終了後には、「できるようになったかどうか」を自分でチェックしてもらいます。

ユニット2「大学の授業に慣れる」

理解 [読む・聞く]

<読む>

1. シラバスを読み、必要な情報を手に入れることができる。
2. 授業で配布・投影される資料を理解することができる。
3. わからない語彙があってもある程度推測しながら、限られた時間の中で配布された資料を読むことができる。
(推測と速読)

<聞く>

4. 講義を聞き、内容を理解することができる。
5. 背景知識を持っていない、よく知らない内容の話でも、意味を推測して理解することができる。
6. 理解不能な部分を書き取り、教員やクラスメイトに確認を求めることができる。(話す・書くとの統合タスク)

産出 [書く・話す(発表)]

7. 講義の内容を聞いて、メモやノートを作成することができる。
8. 授業のコメントペーパーを書くことができる。
9. 教員宛に適切なメールを書くことができる。

コミュニケーション [話す(やりとり)]

10. 講義で聞いた内容について、自分の意見や感想を話すことができる。
11. 教員に適切に質問することができる。

スタディスキル

12. 人に依頼するときのマナーを理解し、実践できる。
13. 分からないことは自分で調べたり、自分から質問したりできる。
14. 大学において必要となる IT スキル (office、メールでのやりとりなど) を身につける。

チェックリスト

日本語 I では、ユニットごとにチェックリストがあります。

このチェックリストには、各ユニットでの学習を通じて、身につけてもらいたい能力やスキルが書かれています。

ユニット終了後には、「できるようになったかどうか」を自分でチェックしてもらいます。

ユニット3「専門入門書を読む」

理解 [読む・聞く]

<読む>

1. 専門入門書の内容が理解できる。

<聞く>

産出 [書く・話す(発表)]

2. 発表内容を簡潔に分かりやすくまとめた、レジュメ・資料を作ることができる。
3. 書籍などから得られる知識を正しく理解したうえで、その内容を自分の言葉で他者に説明することができる。
4. レジュメなどの資料を示しながら、相手に伝わるプレゼンテーションができる。
5. 自分が作成した資料の日本語表現を正確に読むことができる。(※漢字語彙の読み方、発音など)
6. 自信を持って堂々と発表することができる。

コミュニケーション [話す(やりとり)]

7. 自分の意思や考えを相手に分かりやすく伝えることができる。
8. 講義や発表を聞いて、質問することができる。
9. 講義や発表を聞いて、感想やコメントを相手に伝えることができる。(※伝え方に注意しながら)
10. 積極的聞き手として、ディスカッションなどのコミュニケーションに参加できる。

スタディスキル

11. 話の聞きかたのマナー(相手の話をしっかり聞こうとする態度)を身につける。
 <例> 相手の目を見て聞く、体をその人のほうに向ける、あいづち・うなずき、確認 など
12. 自分から話を切り出すことができる。(受身の姿勢×)
13. グループワークの際、相手の気持ちに配慮した言動をとることができる。
14. 発表会やディスカッションの際、主体的に、楽しんで関わろうとする姿勢を持って参加することができる。

チェックリスト

日本語 I では、ユニットごとにチェックリストがあります。

このチェックリストには、各ユニットでの学習を通じて、身につけてもらいたい能力やスキルが書かれています。

ユニット終了後には、「できるようになったかどうか」を自分でチェックしてもらいます。

ユニット4「今後の大学生活をデザインする」

理解 [読む・聞く]

<読む>

<聞く>

産出 [書く・話す(発表)]

※4~6 は、ユニット3 から継続

1. 他者の発表に対し、適切にコメントを書くことができる。
2. 聴衆にとって分かりやすい PPT / スライド資料を作成することができる。
3. 発表で自分が伝えたいことを伝えることができる。
4. レジюмеや PPT などの資料を示しながら、相手に伝わるプレゼンテーションができる。
5. 自分が作成した資料の日本語表現を正確に読むことができる。(※漢字語彙の読み方、発音など)
6. 自信を持って堂々と発表することができる。

コミュニケーション [話す(やりとり)]

※すべてユニット3 から継続

7. 講義や発表を聞いて、質問することができる。
8. 講義や発表を聞いて、感想やコメントを相手に伝えることができる。(※伝え方に注意しながら)
9. 積極的聞き手として、ディスカッションなどのコミュニケーションに参加できる。

スタディスキル

※10・11 はユニット3 から継続

10. 自分から話を切り出したり、働きかけたりすることができる。(受身の姿勢×)
11. 発表会やディスカッションの際、主体的に、楽しんで関わろうとする姿勢を持って参加することができる。
12. 当事者意識を持って、今後の大学生活について考え、目標と行動計画を立てることができる。
13. 当事者意識を持って、今後の大学生活について考え、具体的な行動に移すことができる。
14. 目標を設定し、自律学習を進めることができる。
15. 将来や今後の大学生活のために、必要な情報を自主的に集めたり、調べたりできる。

チェックリスト

日本語ⅡAでは、ユニットごとにチェックリストがあります。

このチェックリストには、各ユニットでの学修を通じて、身につけてもらいたい能力やスキルが書かれてあります。

ユニットの勉強が終わった後は、「できるようになったかどうか」を自分でチェックしてもらいます。

ユニットⅠ「これまでの大学生活をふりかえる」

理解 [読む・聞く]

産出 [書く・話す(発表)]

コミュニケーション [話す(やりとり)]

1. 相手の発表や発言を聞いて、質問することができる。

態度・スタディスキル

2. 自分の学修を多様な観点からふりかえることができる。

3. 自分の目標と行動計画を立てることができる。

4. 目標を設定し、自律学習を進めることができる。(日本語Ⅰのユニット4から継続)

5. 学びと将来の進路の接点を知り、考えることができる。

チェックリスト

日本語ⅡAでは、ユニットごとにチェックリストがあります。

このチェックリストには、各ユニットでの学修を通じて、身につけてもらいたい能力やスキルが書かれてあります。

ユニットの勉強が終わった後には、「できるようになったかどうか」を自分でチェックしてもらいます。

ユニット2「プロジェクト遂行を通して学ぶ(PBL)」

理解 [読む・聞く]

<読む>

1. 日本語の資料やWEBサイトから必要な情報を手に入れることができる。

産出 [書く・話す(発表)]

<書く>

2. 資料を分かりやすい言葉(留学生に伝わりやすい日本語)で作成することができる。
3. 他者の発表に対する適切なコメントをresponに入力することができる。

<発表>

4. 調べた情報を整理して、相手に伝えることができる。

コミュニケーション [話す(やりとり)]

5. 積極的にグループワークに参加し、自分の意見や考えを伝えることができる。
6. ディスカッションで、積極的な聞き手として応答できる。
7. グループワークで司会をすることができる。
8. 教職員・学外の方と適切にコミュニケーションをとることができる。

態度・スタディスキル

9. 知りたいことや分からないことについて、自分で調べたり、自分から質問したりできる。
10. 他者と協働して課題を遂行することができる。

チェックリスト

日本語ⅡAでは、ユニットごとにチェックリストがあります。

このチェックリストには、各ユニットでの学修を通じて、身につけてもらいたい能力やスキルが書かれています。

ユニットの勉強が終わった後は、「できるようになったかどうか」を自分でチェックしてもらいます。

ユニット3 「これからの学びを知り、準備する」

理解 [読む・聞く]

<理解>

1. 背景情報がなくても意味を推測して理解することができる。

産出 [書く・話す(発表)]

<書く>

2. 教員等目上の人に適切なメールを書くことができる。
3. 講義・説明を聞いて、メモやノートを作成することができる。

<発表>

4. 新しく得た情報や知識を理解したうえで、他者に説明できる。
5. レジューメやPPTなどの資料を示しながら、プレゼンテーションができる。

コミュニケーション [話す(やりとり)]

6. 他者の発表を聞いて、質問することができる。
7. 他者の発表に対し、感想やコメントを伝えることができる。
8. 日本語でインタビューをして、相手から得たい情報を得ることができる。
9. 用意した質問だけ聞くのではなく、相手の答えに応じて会話を展開することができる。
10. 相手の話(+発表)をしっかり聞こうとする態度を身につける。

例:相手の話や発表を最後まで集中して聞く、相手の目を見て聞く、あいづち・うなずき、確認など

態度・スタディスキル

11. 自分の興味関心について自己理解を進めることができる。
12. 自分の目標と行動計画を見直すことができる。
13. これまでの学びを整理・統合することができる。